

# 秋冬野菜の生産（生育）・出荷状況について

（全国農業協同組合連合会）

1. 平成22年産冬キャベツ(11月～3月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年10月末現在

	当初計画(平成22年6月作成)				生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農千葉県本部	996	101%	39,400	105%	7月中旬 ～ 8月下旬	8月中旬 ～ 10月下旬	10月上旬～ 3月	出荷開始は、10月上旬からとなった。 本格出荷となるのは11月10日以降の見込み。	出始めは、平年を下回る出回り量となるものの、徐々に増加し、トータルでは平年並みの出荷となることが見込まれる。
全農神奈川県本部	441	113%	20,581	115%	7月上旬 ～ 10月上旬	8月中旬 ～ 11月中旬	10月上旬～ 3月	出荷開始は平年通り10月上旬からとなった。 本格出荷となるのは12月からの見込み。	出始めは、平年を下回る出回り量となるものの、徐々に増加し、トータルでは平年をやや上回る出荷となることが見込まれる。
JAあいち経済連	2,400	101%	99,590	110%	7月下旬 ～ 9月	8月中旬 ～ 11月	10月中旬～ 4月	出荷開始は10月11日からとなった。 本格出荷となるのは、平年よりやや遅い11月中旬以降の見込み。	トータルでは平年を上回る出荷となる見込み。
その他	1,896		62,614						
対象県共販計	5,733	102%	222,185	110%					

コメント

作付面積	全体に前年をやや上回る作付けとなった。 直近の調査による前年比では、千葉県本部100%、神奈川県本部103%、愛知経済連108%。
生育状況	干ばつの影響で序盤の定植遅れたものの、生育は総じて順調。
産地切替え	群馬(高原)がほぼ前年並みの11月上旬でほぼ終了となり、上記主産県を中心とする秋冬産地へ切り替わる。

(2)主産県の月別出荷見通し

	単位:トン	11月	12月	1月	2月	3月	計
全農千葉県本部	22年見通し	10,350	9,150	7,000	7,000	5,300	38,800
	前年比	91%	101%	124%	128%	87%	103%
	3年平均比	100%	97%	95%	120%	118%	103%
全農神奈川県本部	22年見通し	2,253	3,370	4,220	4,765	5,528	20,136
	前年比	97%	109%	113%	111%	124%	112%
	3年平均比	92%	109%	99%	107%	119%	106%
JAあいち経済連	22年見通し	12,100	17,470	18,800	21,030	25,165	94,565
	前年比	104%	104%	131%	128%	106%	114%
	3年平均比	119%	103%	109%	110%	105%	108%
計(上記3県)	22年見通し	24,703	29,990	30,020	32,795	35,993	153,501
	前年比	98%	103%	127%	125%	105%	111%
	3年平均比	107%	102%	104%	111%	108%	107%

- ・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。
- ・3年平均は、平成19年度～21年度の実績の平均。
- ・22年見通しは、22年10月末策定の確定計画。

コメント

出荷見通し	<p>期間トータルでの全体出荷量は、前年、3年平均を上回る見込み。</p> <p>愛知は、期間を通じて3年平均を上回る出荷量となる見込み。</p>
-------	---

[第11回野菜需給協議会資料]

2. 平成22年産たまねぎ(11月～3月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年10月末現在

	当初計画(平成22年2月作成)				生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	トン	実績比					
					播種時期	定植時期	出荷時期		
ホクレン	6,579	100%	333,600	100%	2月上旬～ 2月下旬	4月下旬～ 5月中旬	8月上旬～ 4月下旬	出荷開始は、平年並みの8月上旬か らとなった。	著しい減収を反映し、出荷数量も前 年より減少となる見込み。
その他	2,466		60,152						
対象県共販 計	9,045	98%	393,752	99%					

コメント

作付面積	全体では、ほぼ前年並み。 直近の調査による前年比で、ホクレン100%。
生育状況	7月以降の北海道における天候異変(曇天・高温・多雨・多湿)による根傷み、早期倒伏が発生した。 そのため、平年以上のロス(圃場・選果場での腐敗等)が多く、歩留りが低下した。 小玉傾向も収量減の要因となっている。
産地切替え	引き続き北海道産中心の出回りとなる。

(2)主産県の月別出荷見通し

	単位:トン	11月	12月	1月	2月	3月	計
ホクレン	22年見通し	48,013	45,901	31,353	32,447	35,550	193,264
	前年比	90%	90%	90%	90%	90%	90%
	3年平均比	85%	79%	73%	73%	81%	78%

- ・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。
- ・3年平均は、平成19年度～21年度の実績の平均。
- ・22年見通しは、22年10月末策定の確定計画。

コメント

出荷見通し	過去に例を見ないほどの減収を反映し、流通量は前年を大きく下回る見込み。
-------	-------------------------------------

[第11回野菜需給協議会資料]

3. 平成22年産秋冬だいこん(10月～3月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年10月末現在

	当初計画(平成22年6月作成)				生育ステージ		今年の出荷見通し	
	面積		出荷量					
	計画	前年	計画	前年	播種時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
	(ha)	実績比	トン	実績比				
全農千葉県本部	1,050	100%	51,200	107%	8月上旬～11月	10月上旬～3月	出荷開始は、平年並みの10月上旬からとなった。 本格出荷となるのは、平年よりやや遅い11月上旬以降の見込み。	出始めは平年より少ない出荷量となるものの、期間全体の出荷数量は概ね平年並みを見込む。
全農神奈川県本部	592	104%	52,970	104%	9月上旬～10月中旬	11月上旬～4月上旬	出荷開始は、平年並みの11月上旬から、本格出荷となるのは平年よりやや遅く11月中旬以降の見込み。	期間全体の出荷数量は、平年並みの出荷が見込まれる。
全農徳島県本部	530	98%	24,820	119%	9月上旬～10月下旬	11月上旬～3月	出荷開始は平年よりやや遅く、11月上旬から、本格出荷となるのは11月中旬以降の見込み。	適度な降雨もあり、生育については順調に推移している。 出荷量については前年を上回る出荷を見込む。
その他	1,983		96,008					
対象県共販計	4,155	99%	224,998	106%				

コメント

作付面積	全体では前年比、微減となった。 直近の調査による前年比では、千葉県本部99%、神奈川県本部97%、徳島県本部102%。
生育状況	9月中旬以降は気温、降水量ともに安定したため、生育は概ね順調。
産地切替え	夏秋産地の切り上がり早く、北海道は10月いっぱいほぼ終了となり、上記主産県を中心とする秋冬産地へ切り替わる。

## (2)主産県の月別出荷見通し

	単位:トン	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全農千葉県本部	22年見通し	3,560	11,100	10,500	8,380	7,535	10,830	51,905
	前年比	90%	103%	109%	98%	117%	127%	108%
	3年平均比	95%	98%	104%	97%	108%	110%	102%
全農神奈川県本部	22年見通し	80	3,330	12,160	12,350	13,340	12,320	53,580
	前年比	96%	102%	100%	113%	110%	100%	105%
	3年平均比	117%	105%	97%	102%	105%	98%	101%
全農徳島県本部	22年見通し	11	2,210	5,430	5,630	7,130	4,495	24,906
	前年比	275%	143%	127%	130%	121%	127%	129%
	3年平均比	660%	178%	102%	85%	106%	140%	107%
計(上記3県)	22年見通し	3,651	16,640	28,090	26,360	28,005	27,645	130,391
	前年比	90%	107%	108%	111%	115%	113%	110%
	3年平均比	95%	106%	100%	96%	106%	108%	103%

・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。

・3年平均は、平成19年度～21年度の実績の平均。

・22年見通しは、22年9月末策定の確定計画。

## コメント

出荷見通し	期間トータルでの全体出荷量は、前年、3年平均をやや上回る見込み。(特に2、3月) 千葉・神奈川については、前年を上回るものの3年平均並みの出荷数量を見込んでいる。
-------	--

[第11回野菜需給協議会資料]

4. 平成22年産冬にんじん(11月～3月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年10月末現在

	当初計画(平成22年6月作成)				生育ステージ		今年の出荷見通し	
	面積		出荷量				出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年				
	(ha)	実績比	トン	実績比				
		播種時期	出荷時期					
全農千葉県本部	1,190	100%	51,550	106%	7月下旬～ 8月上旬	10月下旬～ 3月末	7～10日遅れている。出荷開始は、平年並みの10月下旬から、本格出荷は11月中旬以降になる見込み。	期間全体では、多かった前年はやや下回るものの、平年並みの出荷を見込む。 (初期成育期の干ばつによる影響は軽微)
JAあいち経済連	283	98%	11,560	92%	8月上旬～ 9月上旬	11月中旬～ 3月下旬	平年より1週間以上遅れている。出荷開始は11月中旬から、本格出荷となるのは、12月以降を見込む。	一部圃場で高温・干ばつによる影響が見られるものの、ほぼ平年並みの出荷量を見込む。
全農長崎県本部	285	100%	11,000	98%	8月上旬～ 9月中旬	11月上旬～ 3月上旬	平年どおり、11月上旬から出荷開始となり、11月中旬から本格出荷となる見込み。	全体を通しては生育順調で、前年並みの出荷が見込まれる。
その他	893		29,496					
対象県共販計	2,651	101%	103,606	102%				

コメント

作付面積	全体には、前年を下回る。 直近の調査による前年比では、千葉県本部97%、JAあいち経済連92%、長崎県本部99%。
生育状況	生育は概ね順調。
産地切替え	北海道産の切り上がりは早く、11月以降急減し、上記主産県を中心とする秋冬産地へ切り替わる。



(2)主産県の月別出荷見通し

	単位:トン	11月	12月	1月	2月	3月	計
全農千葉県本部	22年見通し	6,710	12,030	9,210	8,958	6,300	43,208
	前年比	91%	95%	90%	107%	90%	94%
	3年平均比	102%	95%	94%	110%	101%	100%
JAあいち経済連	22年見通し	300	2,750	3,120	3,510	2,150	11,830
	前年比	78%	107%	102%	90%	112%	100%
	3年平均比	97%	105%	102%	92%	100%	99%
全農長崎県本部	22年見通し	2,760	4,008	2,775	1,601	175	11,319
	前年比	112%	98%	108%	95%	44%	101%
	3年平均比	121%	98%	117%	106%	41%	106%
計(上記3県)	22年見通し	9,770	18,788	15,105	14,069	8,625	66,357
	前年比	95%	97%	94%	101%	92%	96%
	3年平均比	106%	97%	99%	104%	98%	100%

・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。

・3年平均は、平成19年度～21年度の実績の平均。

・22年見通しは、22年10月末策定の確定計画。

コメント

出荷見通し	多かった前年は下回るものの、ほぼ平年並みの出荷となる見込み。
-------	--------------------------------

[第11回野菜需給協議会資料]

5. 平成22年産秋冬はくさい(10月～3月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年10月末現在

	当初計画(平成22年6月作成)				生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	トン	実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城県本部	910	100%	58,500	88%	7月下旬～ 9月中旬	8月中旬～ 9月下旬	10月中旬～ 3月	出荷開始は平年より2週間程度遅く10月中旬からとなった。11月上旬以降、本格出荷となる見込み。	年内出荷は前年を上回る見込み。期間トータルでの出荷量の見込みは、平年比「並み」～「上回る」。
JAあいち経済連	285	98%	15,275	108%	9月上旬～ 9月下旬	9月下旬～ 10月中旬	11月上旬～ 3月	出荷開始は平年より5日程度遅い11月上旬となる見込み。本格出荷となるのは、11月中旬以降からの見込み。	年内出荷は、平年を下回る出回り量となる。
全農兵庫県本部	191	99%	12,676	130%	9月上旬～ 9月下旬	9月下旬～ 10月上旬	11月下旬～ 3月上旬	出荷開始は11月下旬となる見込み。本格出荷となるのは平年並みの12月中旬ごろからの見込み。	年内出荷については、台風被害を受けた前年を大きく上回る見込み。
その他	2,123		58,727						
対象県共販計	3,509	100%	145,178	100%					

コメント

作付面積	全体では前年比、微減となった。 直近の調査による前年比では、茨城県本部100%、JAあいち経済連90%、兵庫県本部100%。
生育状況	干ばつの影響で序盤の定植遅れたものの、概ね順調に生育している。
産地切替え	長野の切り上がり早く、11月上旬でほぼ終了となり、上記主産県を中心とする秋冬産地へ切り替わる。

(2)主産県の月別出荷見通し

	単位:トン	10月	11月	12月	計	1月	2月	3月
全農茨城県本部	22年見通し	2,385	13,290	18,030	33,705	1~3月については、 12月に別途確定計画を 策定する。		
	前年比	74%	119%	112%	111%			
	3年平均比	81%	115%	123%	116%			
JAあいち経済連	22年見通し	0	1,410	3,800	5,210			
	前年比	0%	90%	109%	103%			
	3年平均比	0%	91%	98%	96%			
全農兵庫県本部	22年見通し	2	81	943	1,026			
	前年比	200%	100%	150%	144%			
	3年平均比	86%	119%	126%	126%			
計(上記3県)	22年見通し	2,387	14,781	22,773	39,941			
	前年比	74%	115%	113%	110%			
	3年平均比	81%	112%	118%	113%			

- ・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。
- ・3年平均は、平成19年度～21年度の実績の平均。
- ・22年見通しは、22年9月末策定の確定計画。

コメント

出荷見通し	<p>年内の全体出荷量は、前年、3年平均を上回る見込み。</p> <p>茨城の年内出荷は、前年、3年平均を大きく上回る見込み。</p>
-------	---

[第11回野菜需給協議会資料]

6. 平成22年産冬レタス(11月～3月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成22年10月末現在

	当初計画(平成22年6月作成)				生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城県本部	880	100%	21,840	110%	8月中旬～ 11月上旬	・8月下旬～ 9月下旬 ・11月上旬～ 12月中旬	・10月上旬 ～12月 ・2月～4月	出荷開始は平年よりやや遅く10月上旬から、10月中旬より本格出荷となった。	猛暑・干ばつで定植・生育が後ろにずれただため、11月中旬以降の減少のペースは平年より緩やかになることが予想される。
JA静岡経済連	464	97%	13,080	97%	8月下旬～ 10月上旬	10月上旬～ 12月	10月中旬～ 3月中旬	平年並みの10月中旬の出荷開始となった。 本格出荷となるのは12～2月。	期間トータルでは、前年をやや下回る出荷となる見込み。
全農兵庫県本部	1,067	99%	23,672	126%	8月上旬	9月上旬～ 11月下旬	10月中旬～ 3月中旬	出荷開始は、前年より1週間遅く、10月中旬からとなった。 11月中旬より本格出荷となる見込み。	スタートは遅れたものの、その後の生育は順調で、台風の影響を受けた前年を大きく上回る出荷が見込まれる。
JA香川県	845	113%	23,220	137%	8月下旬～ 11月下旬	9月下旬～ 1月中旬	10月上旬～ 3月	出荷開始は平年より5日程度遅い10月上旬となった。 本格出荷は、1月以降となる見込み。	年内出荷は、平年より多め目の出荷量を見込む。 一方、年明け出荷については平年を下回る見込み。 トータルではほぼ平年並み。
その他	2,657		54,402						
対象県共販計	5,449	102%	123,134	115%					

コメント

作付面積	全体では、ほぼ前年並み。 直近の調査による前年比では、茨城県本部100%、JA静岡経済連101%、兵庫県本部98%、JA香川県100%。
生育状況	序盤の定植遅れたものの、生育は総じて順調。
産地切替え	長野等が11月上旬でほぼ終了となり、上記主産県を中心とする秋冬産地へ切り替わる。

(2)主産県の月別出荷見通し

	単位:トン	11月	12月	1月	2月	3月	計
全農茨城県本部	22年見通し	10,622	2,245	591	1,047	7,432	21,937
	前年比	109%	111%	112%	105%	114%	111%
	3年平均比	111%	111%	130%	102%	111%	111%
JA静岡経済連	22年見通し	498	3,179	3,565	3,387	1,856	12,485
	前年比	154%	108%	109%	105%	92%	96%
	3年平均比	81%	93%	92%	98%	98%	94%
全農兵庫県本部	22年見通し	4,502	6,435	4,596	4,068	4,191	23,792
	前年比	123%	160%	129%	114%	106%	127%
	3年平均比	113%	122%	110%	113%	110%	114%
JA香川県	22年見通し	2,367	3,834	3,482	3,576	3,861	17,120
	前年比	96%	104%	112%	105%	101%	104%
	3年平均比	104%	107%	89%	95%	100%	98%
計(上記4県)	22年見通し	17,989	15,693	12,234	12,078	17,340	75,334
	前年比	110%	119%	113%	106%	106%	111%
	3年平均比	109%	110%	98%	102%	107%	106%

・月別出荷見通しは確定計画の対象県共販計、対象市場計の数字。

・3年平均は、平成19年度～21年度の実績の平均。

・22年見通しは、22年9月末策定の確定計画。

コメント

出荷見通し	<p>期間トータルでの全体出荷量は、前年、3年平均を上回る見込み。</p> <p>茨城、兵庫については、年内出荷で前年、3年平均を大きく上回る見込み。</p>
-------	---

